

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホームなぎみ苑
日付	平成17年12月13日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での看護業務歴32年(内老人病棟で18年)、家族介護歴7年 認知症高齢者の介護歴及び相談援助歴23年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> ・居間の一面は、床から天井までガラス張りになっており、那義山を望みながら、四季折々の変化を感じることができるような環境になっています。 ・併設の特別養護老人ホームと連携されており、緊急時には協力を得ることが可能です。入居者の健康管理には、看護師や嘱託医の協力を得ることができています。 ・家賃を取っておらず、入居者が利用しやすい料金設定です。 ・グループホームの2階は、高齢者交流センターになっています。利用者は、グループホームにも立ち寄られ、開かれたホームとして地域住民との交流の場となっています。 ・職員の穏やかな対応で、入居者は落ち着いて過ごしておられます。
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> ・昼食後の口腔ケアについては、入居者の自主性に任されており、職員からの促しや支援がみられませんでした。嚥下性肺炎を予防する観点からも、毎食後に歯磨きやうがいなどを勧められてはいかがでしょうか。 ・食事が併設施設で作られています。本来、調理に費やす時間は合理的に使われているようですが、グループホームの特性を考慮し、グループホームで調理できる環境を整えたいという考えを、引き続き検討されることを期待します。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・一期一会を大切に、入居者と職員がひとつの家族のように過ごしていきたいと考えておられます。 ・入居者のペースを大切に、強制しない支援をめざしておられます。 		

ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸やちぎり絵など、入居者の得意なことや好みに合わせた対応をしておられました。 ・着替えが必要な時には、他者に気づかれないよう、さりげなく居室に誘導しておられました。 		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者のペースに合わせた個別の対応を心がけておられます。 ・大きな窓からは、周囲の景色を自然を眺めることができ、視覚的に落ち着ける環境です。 		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や、ヒヤリハット発生時には、原因や対策を話し合い、再発防止に向けて努力をしておられます。 ・サービスの質の向上に向け、他のグループホームへ研修に出かけたり、研修会に参加するなど、意欲的に取り組んでおられます。 		